

年 組 名前：

中央・田富南小 サマースクール 地域と連携



地域住民（手前）からスノードームの作り方を教わる児童＝中央・田富南小

- ・所在地
中央市西花輪1250
- ・全校児童
157人
- ・創立年月日
1989年4月1日
- ・学校教育目標
「豊かな心とたくましい体を持ち主体的に学ぶ子」



い夏休みに普段体験できないことにチャレンジしてもらおうと約20年前にスタート。今年は服を着たまま泳ぐ着衣泳やバスケットボール教室、星美観察など11講座を用意した。7月22日、8月1日に日替わりで各講座を開いた。

当初は教員がそれぞれの特技を生かした講座を開いていたが、参加児童の保護者を中心に講師役を申し出る動きが広がった。友達と会えたのもうれしいと喜んだ。（飯野裕平）

第1、3土曜日に掲載します

住民講師に多彩な体験



②

中央・田富南小は夏休み期間、同校理科室で開かれたスノードーム作りの講座。参加した児童が、完成したスノードームを見て歓声を上げた。講座には星美観察、スポーツ体験など多彩なテーマの特別講座を展開。児童が地域住民と交流する機会にもなっている。

「きれいにできた！」7月24日 サマースクールは、授業がな

り、現在は約半数の講座で外部の人材が講師を担う。中央市教委の担当者は「地域と学校がこれほど積極的に連携する事例は珍しい」と説明する。

スノードーム作り講座を担当した同市今福の森本初美さん（49）は「今年で講師を務めるのは3回目。去年は卒業生の娘も音楽教室を開いた。毎年子どもたちの顔を見るのがとても楽しい」と話す。

同校によると、全校児童の約2割が外国にルーツがあり、こうした児童が長期休み中に孤立することなく講座を通じて地域と接点を持つたり、友達と会えたりするきっかけにもなる」（雨宮美校長、ブラジルにルーツを持つ6年のジャズミンさんはバスケットボール教室に参加し、「地域の人とつながる機会が楽しかった」と話した）

(2025 年 8 月 2 日付 山梨日日新聞 16 面)

問1 夏休み期間中、田富南小では、だれが講師となって、サマースクールを開いていますか。

.....

問2 7月24日は、どのような講座を、どこで行い、何人が参加しましたか。

・講座： ・どこで： ・参加人数：

問3 田富南小が、サマースクールを始めた理由を教えてください。

.....